

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
大垣市	中部地区 （河間、笠縫、笠木、宿地、木戸、南一色、室村、林、切石、南頬、世安、今、久瀬川、若森、藤江）	平成31年2月27日	令和3年3月25日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	23.2 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者及び耕作者の耕作面積の合計	12.2 ha
③地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	8.7 ha
i うち後継者がいない農業者の耕作面積の合計	2.3 ha
ii うち後継者が未定の農業者の耕作面積の合計	4.1 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.0 ha
（備考） 生産調整の対象水田を基にアンケート調査を実施した。	

2 対象地区の課題

中部地域の農業は水稻等の土地利用型農業の経営体を中心となっている。農業の現状としては、農業従事者の高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加などを主な問題として抱えている。また、ほぼ全域が市街化区域であるため、耕作等が難しい状況である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中部地域のほとんどが市街化区域であり、担い手もいないことから、周辺の環境に影響を及ぼさないように各農家が中心となり適正管理に努めるとともに、新たな活用方法を検討していく。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
計	人		〇 ha		〇 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

○市街化区域内の農地の活用方針

周辺の環境に影響を及ぼさないように適正管理に努めるとともに、新たな活用方法を検討していく。